

公共交通利便性向上のためのアンケート調査結果

1. 調査時期

令和7年10月1日～令和7年10月31日

2. 調査方法

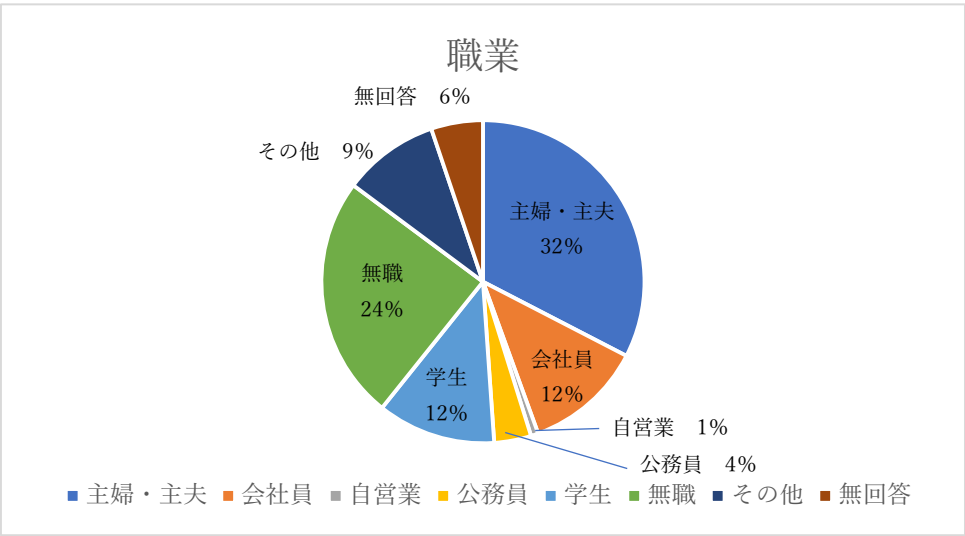
コミュニティバス及びふれタク車内での調査票設置、インターネットによる回答

3. 回答数

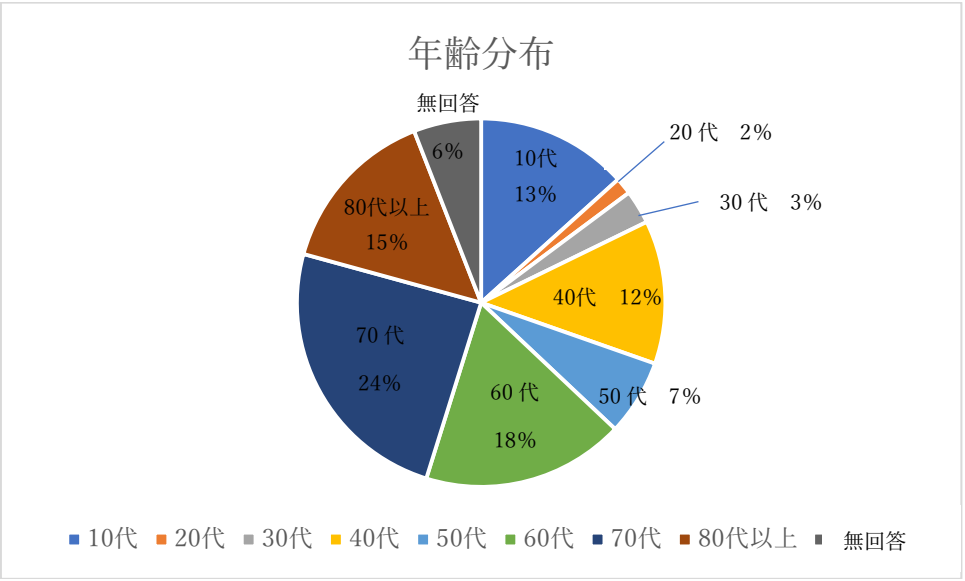
車内回答 111 件、インターネット回答 24 件 合計回答 135 件

4. アンケート結果

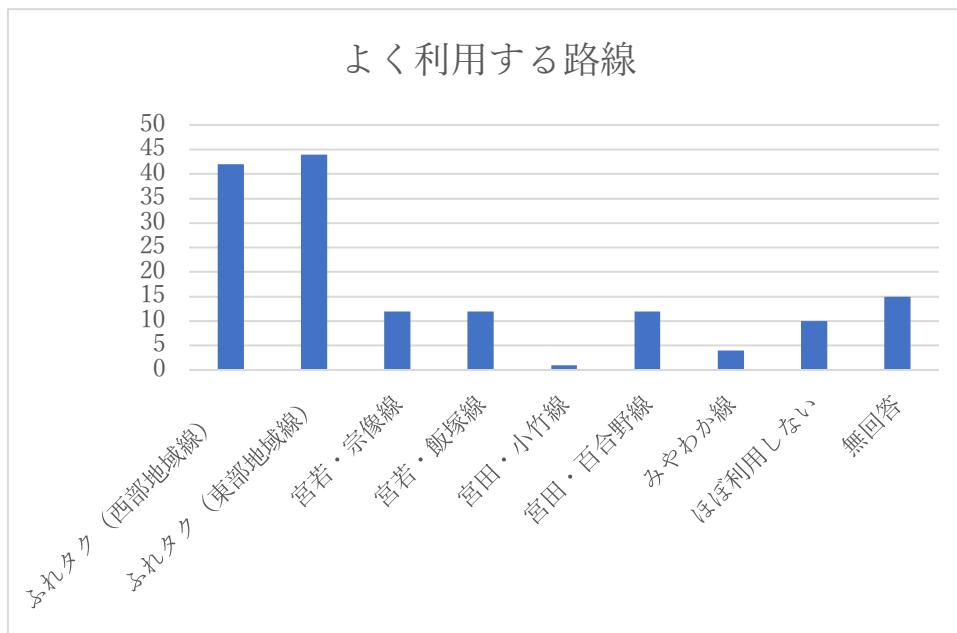
質問 1-1 職業



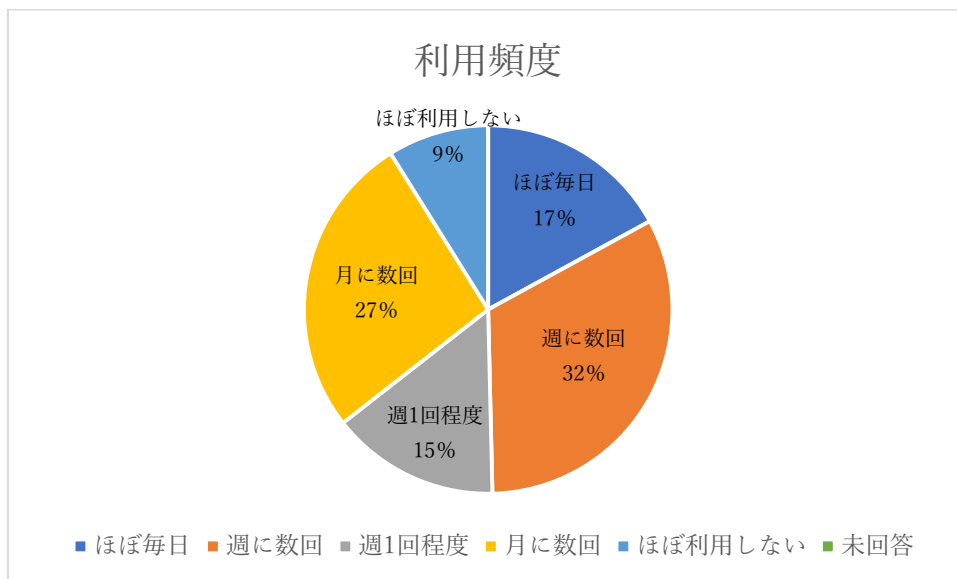
質問 1-2 年齢



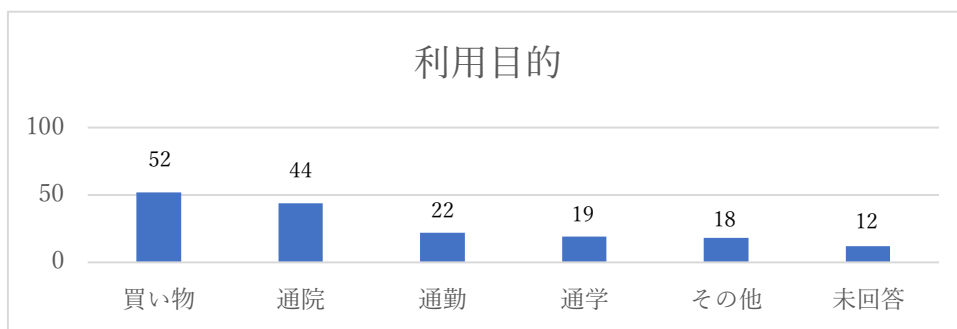
質問 1-3 よく利用する路線（複数回答可）



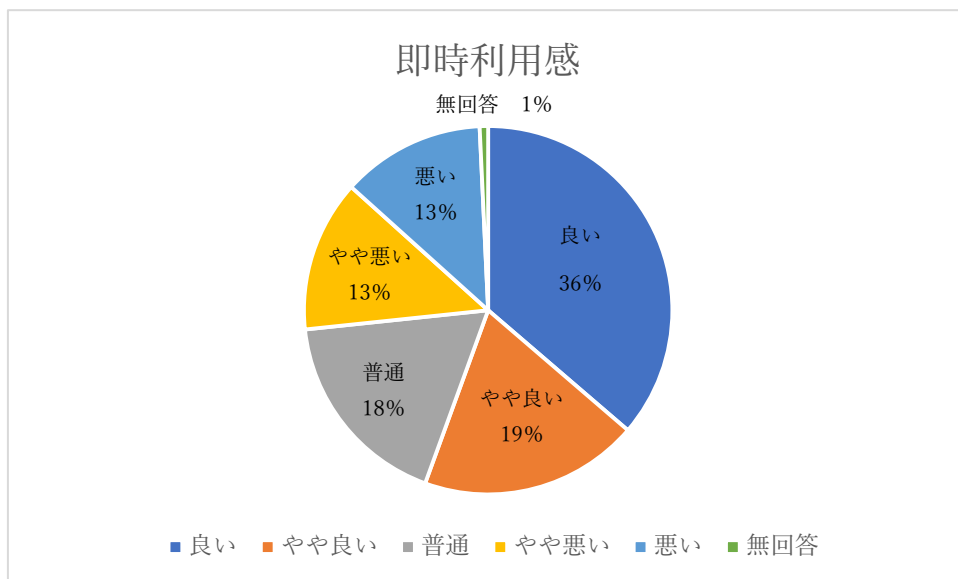
質問 2-1 どのくらいの頻度で利用しますか



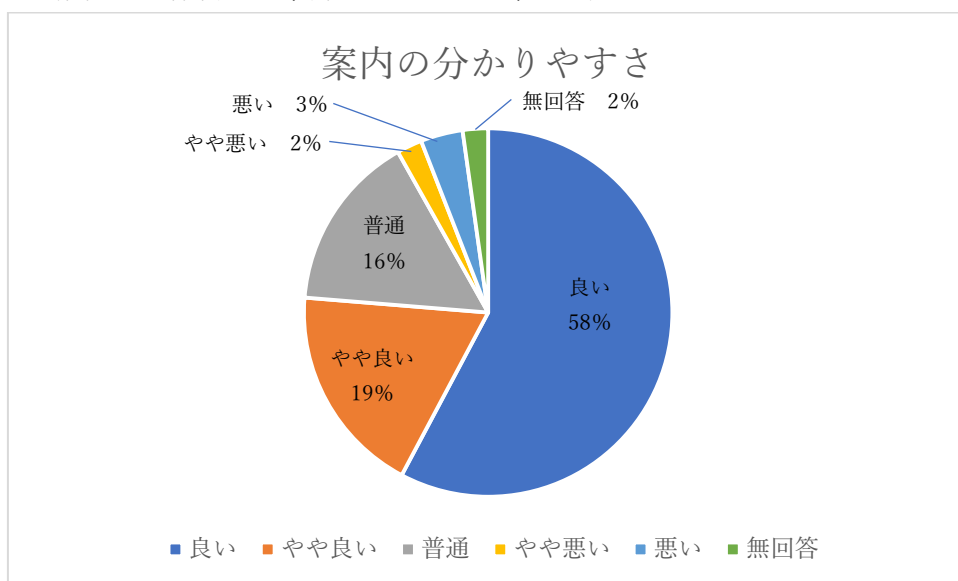
質問 2-2 主な利用目的（複数回答可）



質問 3-1 利用したいバス（またはタクシー）がすぐに利用できると感じるか

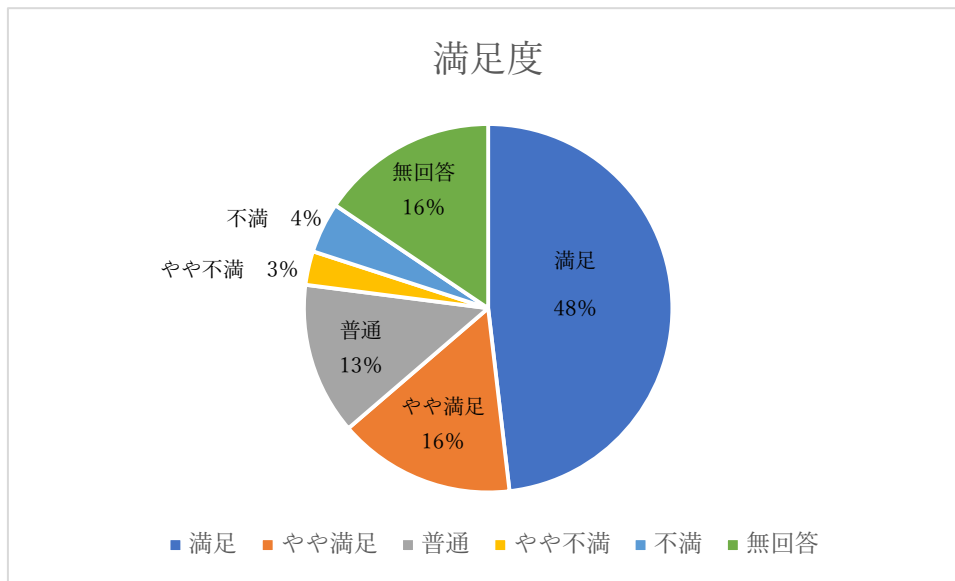


質問 3-2 停留所や乗降場所の場所や案内は分かりやすいか

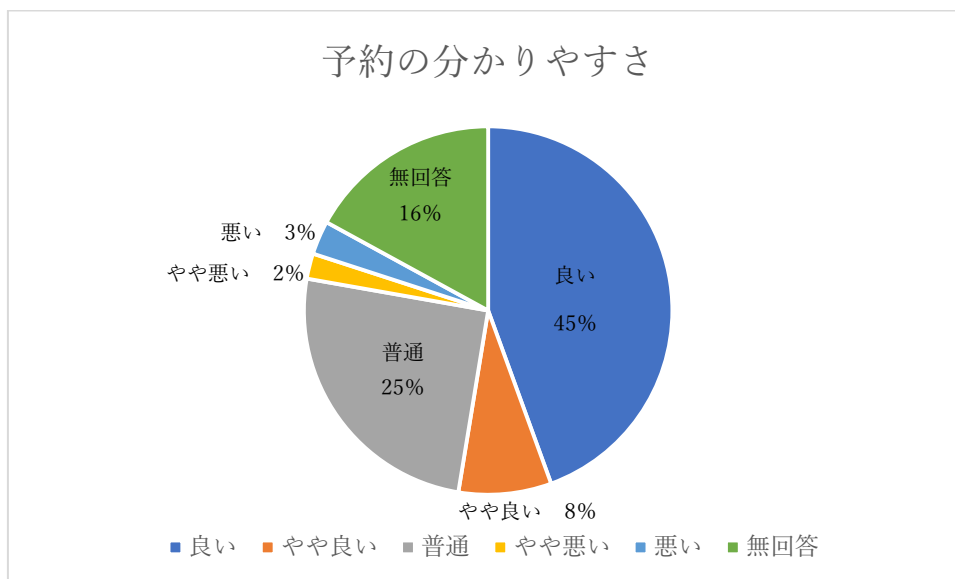


※質問 4 は、ふれタクに関する質問です

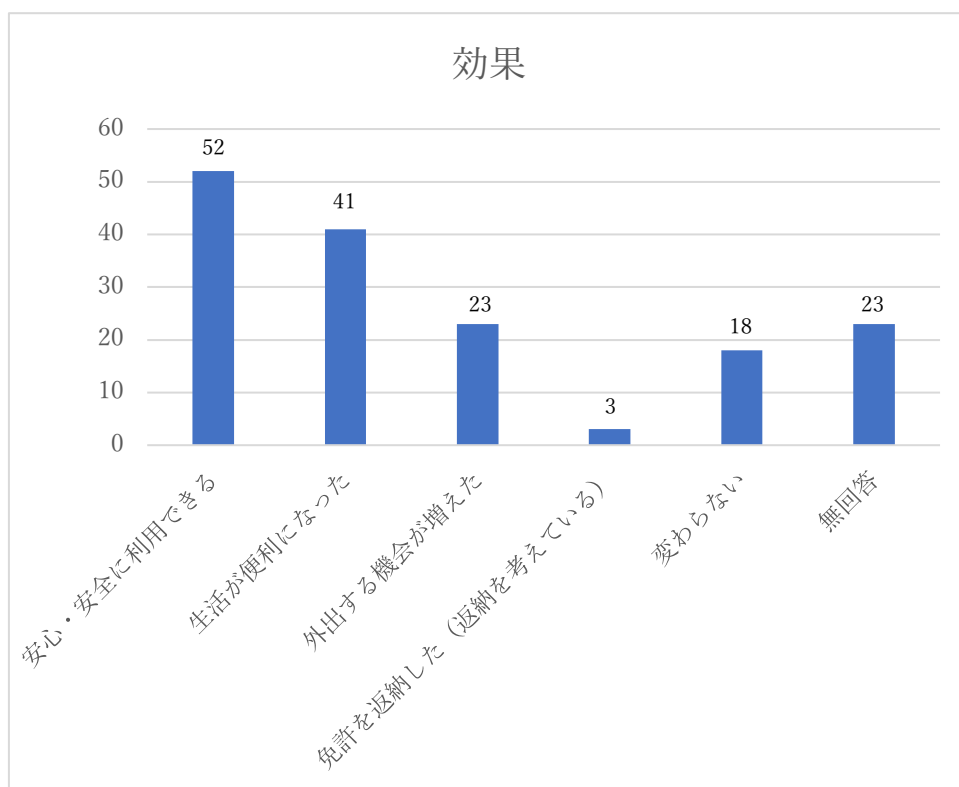
質問 4-1 ふれタクの利用に満足しているか



質問 4-2 予約の仕方（LINE、アプリ、コールセンター）は分かりやすいか



質問 4-3 ふれタク利用前と比べて変わったこと（複数回答可）



質問 5-1 質問 3 または 4 で「悪い」「やや悪い」と回答した理由（主なもの）

通学の時間と運行時間が合わない。
運転手の態度が悪い。
バスの接続がうまくいかず乗れない。バスは遅延が度々発生するため、バスダイヤ上では接続できるはずが、実際には遅延が起こるため乗れない。
便数や路線が少ない、高い。
ふれタクで宮若市内だけしか移動できない。バスなのかどうか分からない。
遠くまで 20 分程歩いていかないと利用できない。
希望する時間に予約が取れない（予約が取りにくい時間帯がある）。
利用できる時間が日によってバラバラなこと。
予約が 1 時間は取れないこと。
バス停がわかりにくい。場所がすぐに把握出来ない。
バスが少ない。

質問 5-2 「悪い」「やや悪い」を改善するための提案（主なもの）

宮若・宗像線の時間をすべて30分遅らせてほしい。
宮若市広報で知らせる。
運転手を変える。
バスの時間がもう少し全体的に遅らせる。
ふれタクは日曜日、祭日も利用出来るようにして欲しい。
80歳以上なので病院や買い物の近くに停めてもらいたい。
便数や路線を増やし、安くする。
ふれタクで直方駅や小竹駅行きをつくってほしい。コミュニティバスとわかる見たいにしてほしい。乗っていいのかわからない。他自治体を参考にしてほしい。
タクシーの台数が圧倒的に足りない。ライドシェアを導入すれば、税金を使わずにこの問題は一気に解決する。
ライドシェアを導入してほしい。
不定期運行ではなく定期運行にしてほしい。
交通難民です。近くまで迎えに来てほしい。
AIを使ってよく利用する時間をすぐ予約できるようにしてほしい。
店や病院の帰りに自宅近くで停めてもらいたい。
バス停を設置する。
以前から伝えている。今さら何を聞くのかと思う。
JRバスとの接続ができるようにする。

質問 5-3 上記以外で、公共交通に対する要望（主なもの）

電車を通してほしい。
JRバスの本数を増やしてほしい（博多駅行、学生帰宅時間帯）。
身体障害者手帳を持っている人にはなるべく住宅に近くに停車してほしい。
昼の12～13時も交代で動かしてほしい。
小竹駅にふれタクを接続してほしい。
屋根と椅子の設置
運転手さんがやさしい（運転手、コールセンター対応へのお礼）。

5. まとめ

コミュニティバスやふれタクの案内の分かりやすさに不便を感じている人は少ないものの、即時利用間に不満を抱える人が約1／4いることが分かった。

ふれタクについては、満足度や予約の分かりやすさについて不便を感じている人が少ないことが分かった。これは、ふれタクが市民に浸透したからではないか。

改善提案や要望について真摯に受け止め、運行事業者を含め関係者等と意見交換を行いながら、市民にとって満足度の高い公共交通を目指してまいります。